

## 医学部医学科のアウトカム

ディプロマ・ポリシー項目	医学部医学科のアウトカム（2023年12月25日教育研究評議会承認）
1. プロフェッショナリズム	<b>A. プロフェッショナリズム</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな教養と確固たる倫理観を身につけ、利他的かつ公正な態度で行動できる。</li> <li>2. 医師の職責を十分に自覚し、社会に対する責任を遂行できる。</li> <li>3. 自分自身の在りようを振り返り、自らの行為を客観的に捉えることができる。</li> <li>4. 患者に対して深い敬意と思いやりを持って接することができる。</li> </ol>
2. 専門的な医学知識に基づく問題対応能力	<b>B. 専門的な医学知識に基づく問題対応能力</b> <p>発展し続ける基礎医学、行動科学、社会医学、臨床医学に関する以下の領域の知識を有し、それらを根拠に基づいて診療や研究に活用できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遺伝、発生</li> <li>2. 正常構造、機能、代謝</li> <li>3. 心理、行動</li> <li>4. 成長・発達、加齢、死</li> <li>5. 発病機構、病態</li> <li>6. 診断、治療</li> <li>7. 医学統計・疫学</li> <li>8. 地域医療・保健・福祉</li> <li>9. 医療安全・感染対策</li> </ol>
3. 基本的診療技能に基づく全人的医療	<b>C. 基本的診療技能に基づく全人的医療</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者の病歴聴取を正確に実施できる。</li> <li>2. 患者の身体診察を適切に実施できる。</li> <li>3. 基本的臨床手技や救急処置を適切かつ安全に実施できる。</li> <li>4. 診断計画を立案し実施できる。</li> <li>5. 適切な治療計画を立案し、治療に参加できる。</li> <li>6. 自らが担当する患者についてプレゼンテーションできる。</li> <li>7. 自らが担当する患者の医療文書や診療録を作成できる。</li> <li>8. 関連情報を分析し、EBMを実践できる。</li> <li>9. 医療安全や感染対策を理解し実践できる。</li> <li>10. 患者の抱える問題を臓器横断的に捉え診療できる。</li> <li>11. 患者背景に配慮し診療できる。</li> </ol>
4. コミュニケーションと多職種連携	<b>D. コミュニケーションと多職種連携</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者・家族の言葉を傾聴し、共感することにより、良好な関係性を築くことができる。</li> <li>2. 患者・家族に対して、適切な言葉遣いでわかりやすく説明できる。</li> <li>3. 医療チームのスタッフを尊重することにより、良好な関係性を築くことができる。</li> <li>4. リーダーシップを理解し、多職種間連携に参加できる。</li> </ol>
5. 地域医療への貢献	<b>E. 地域医療への貢献</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会保障・医療保険制度・地域医療連携体制(救急・災害医療や在宅医療を含む)について説明できる。</li> <li>2. 地域医療に積極的に参加できる。</li> <li>3. 地域住民に対する健康増進、疾病予防、安全確保のための活動に積極的に参加できる。</li> <li>4. 災害医療に積極的に参加できる。</li> <li>5. 国際社会における保健医療と公衆衛生について説明できる。</li> </ol>
6. 科学的探究心と国際的視野	<b>F. 科学的探究心と国際的視野</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医学・医療での未解決の課題を発見し、解決方法を考案できる。</li> <li>2. 医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。</li> <li>3. 必要な医学・医療情報を英語により得ることができる。</li> <li>4. 実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションでき</li> </ol>

	<p>る。</p> <p>5. 科学的思考に基づいた批判・討論ができる。</p> <p>6. 医学・医療の発展のために、得られた研究成果を世界に発信できる。</p> <p>7. 国際的視野に立ち、医学・医療に関する課題について考察できる。</p> <p>8. 医療活動を通じた国際協力に貢献できる。</p> <p>9. 研究倫理を理解したうえで研究を実施できる。</p>
7. 情報・科学技術の活用	<p><b>G. 情報・科学技術の活用</b></p> <p>1. 個人情報や情報セキュリティに関する法令を遵守し、臨床や研究の場で活用できる。</p> <p>2. コンピュータを用いてデータを分析し、問題の解決に役立てることができる。</p> <p>3. 電子カルテの特性を踏まえて適切に活用できる。</p> <p>4. 医療 AI(人工知能)の現状と課題を理解し、臨床や研究の場で活用できる。</p>
8. 生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢	<p><b>H. 生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢</b></p> <p>1. 医学・医療の進歩に関心を持ち、生涯にわたって自律的に学び続けることができる。</p> <p>2. 他の医療者と互いに教え、学びあうことができる。</p>